

**平成 29 年度
元気創造まちづくり事業実施報告**

**平成 29 年度
栗東市市民参画と協働によるまちづくり推進条例
行動計画における各課の取組み実績**

栗東市市民社会貢献活動促進基金補助金（元気創造まちづくり）事業

※実績報告により事業費が減額となる場合があります。

[市民団体推進コース]

	事業名 事業団体	事業費 (助成額)	事業概要
1年目	栗東市ボランティア 観光ガイド育成事業 栗東市ボランティア 観光ガイド協会	200,000 円	ボランティア観光ガイド実践講座「栗東ふるさと観光塾」を開催し、ボランティア観光ガイドの発掘と育成に取り組みました。 また、市内中学校、高等学校の美術部にポスターやシンボルマークの作成を依頼し、活動をPRするとともに、若年層にも関心を持ってもらうよう工夫しました。 さらに、歴史民俗博物館、市民学芸員の会との共催による歴史講座を開催し、ガイドに関するスキルアップに向けた取り組みを行いました
2年目	絵手紙で元気に！ くりちゃん絵手紙	105,000 円	絵手紙講座を開催し、絵手紙のよさを市民に広め仲間づくりに取り組みました。 また、幼稚園・学童保育・龍谷大学・世界と出会う交流ひろば・コミセンまつり・ボランティアまつりで絵手紙の体験講座を開催し、絵手紙の指導をしながら交流を深めました。 会員向けの事業では、月1回スキルアップのための勉強会を実施するとともに、絵手紙団扇を市内施設に寄贈しました。また、コミュニティセンター治田東ロビーにて絵手紙展を常設し、絵手紙の良さと活動内容を広く発信しました。
2年目	音楽で地域を元気に！ 安養寺山音楽会	150,000 円	日頃から気軽に音楽に触れる機会として年3回の自主企画によるコンサートを開催しました。4月のうららかコンサートでは200人、8月のちよつといづくコンサートでは100人、12月のクリスマスコンサートでは100人の方の参加がありました。 また、はなもも市をはじめとする地域イベントのほか、戦没者追悼式やコミセンの主催事業など（15回）にも積極的に参画するなど活動の場を広げ、大人から子どもまで幅広い人たちに音楽の楽しさを伝えられるよう取り組みました。
2年目	はなもも市 はなもも市実行委員会	200,000 円	地産地消と地元農業の活性化をテーマに、下戸山マルシェ「はなもも市」を開催しました。 4月と11月に開催した「はなもも市」では、下戸山で獲れた米や野菜の直売のほか、地元の農産物を使った屋台を出店しました。また、餅つき大会やトラックステージでの発表を実施し、家族で楽しめるイベントとなるよう工夫しました。
3年目	専門的スキルを生かした社会貢献活動事業 NPO法人 プロボノ滋賀	200,000 円	ひだまりの家、草津第2むつみ園、県・引きこもり支援センター、草津フリータイム、栗東市100歳大学、栗東市ボランティアセンターや自治会活動などに高齢者などのスキルを持ったワーカーを派遣し、パソコン教室や美術教室などの支援を行いました。 また、ワーカー交流会やプロボノフェスタを開催し、高齢者等の生きがいづくりに寄与するとともに、研修会や支援先懇談会など、ワーカーの資質向上と支援先の開拓を積極的に行うことで中間支援団体としての基盤確立を目指しました。

	事業名 事業団体	事業費 (助成額)	事業概要
3年目	絵本の読み聞かせ 絵本読み聞かせ にこにこくらぶ	160,000 円	市内の小学校・幼稚園・保育園・学童・児童館等の施設のほか、はなもも市やボランティアまつりなどのイベントにおいて絵本の読み聞かせを行いました。 また、車の運転が出来ない会員でも持ち運び可能な軽量かつコンパクトな大型紙芝居とペープサートを作成し、読み聞かせに活用しました。 事業効果の向上のため毎月定例会を実施し、発声練習や反省等を行うことで技術面でのステップアップを図りました。
3年目	ハーベスタ・イン・走井 ハーベスタ・イン・走井 実行委員会	200,000 円	高齢化のすすむ走井地区の活性化と都市農村交流をテーマに収穫祭「ハーベスタ・イン・走井」と棚田ボランティアの受入活動を実施しました。 10月に開催した「ハーベスタ・イン・走井」では、走井産清流米での釜炊きご飯のふるまいや餅つき体験、地元農産物や加工品の直売のほか、呈茶によるおもてなしのコーナーを設け地域の魅力発信に努めました。また、民族音楽などの五感に響くバンドの演奏やオーガニックカフェの出店など、若者の興味を引く工夫を凝らし、延べ350人が走井を訪れました。 また、年5回の棚田ボランティアの受入活動では約40人のボランティアを受け入れ、若者が農林業にチャレンジするきっかけをつくることができました。

[地域振興協議会コース]

	事業名	事業費 (助成額)	事業概要
3年目	防災啓発 ～「かまどベンチ」設置事業～ 治田西学区 地域振興協議会	130,000 円	「安全・安心のまちづくり」として、防災かまどベンチを地域のコミセン及び広域避難場所である小学校、中沢グローバル自治会、小柿二区自治会内の公園に続き、今年度は中沢自治会に設置しました。完成後には「かまどベンチ」のお披露目会として、学童保育所において「かまどベンチ」を利用した焼き芋づくりを実施し、子どもの防災意識の向上に寄与しました。
3年目	栗東駅周辺環境美化事業 大宝学区 地域振興協議会	200,000 円	魅力あふれる駅前を創出するため、栗東駅東口周辺の美化清掃活動を行いました。駅前に設置したプランターはサイズを大きくして花を植えたことで、より景観が華やかとなり魅力的な空間へと近づけることができました。 また、「コミセンだより」を活用しながら、ボランティアの募集や啓発を行うと共に、学区住民の環境に対する意識向上を促す取り組みを行いました。
3年目	健康で元気あるまちづくり 大宝東学区 地域振興協議会	200,000 円	健康で元気あるまちづくりをテーマに、講習会を開催しました。 1月に開催した「避難所体験をしてみよう」では65名の参加があり、コミセン全館を使っでの避難所体験を行いました。参加者は三班に分かれ、「応急手当講習」「災害に備えるために」「身近なものを作ってみよう」をテーマに学区内の消防団員5名と防災士2名から、止血法や骨折時の対応、新聞紙を使った食器やスリッパ作りなど実践を交えながら学び、防災意識の向上を図ることができました。

1) 市政への参画

①パブリックコメント制度等の充実

取組み名	パブリックコメント制度等の充実
主な担当課	●：広報課 ○：自治振興課
現状・課題	パブリックコメント等を実施していますが、十分浸透しておらず、広く市民への参画を呼びかけるなど制度の充実と周知を図る必要があります。
推進内容	パブリックコメントや市民説明会の実施時期や市民への周知、市民から提案された意見（各種アンケート等）の把握・精査、計画への反映など、市民にとって身近な制度となるよう充実に取り組みます。

平成 29 年度目標(値)と具体的な取組み	平成 29 年度実績と課題
<p>●パブリックコメントにより市民意向を把握し、行政への市民参画を推進します。実施回数 10 回、意見 10 件を目標とします。（広報課）</p> <p>○平成 28 年度に実施した事業所及び市民アンケートの結果を活かし、周知方法や表現について工夫し、市政への積極的な市民参画を促します。（自治振興課）</p>	<p>●実施要綱に基づき、広報やホームページで周知を図り 11 件の計画案等についてパブリックコメントを実施しましたが、寄せられる意見が少ないため（1 月 31 日現在 1 件）今後は周知や閲覧の方法について工夫する必要があります。（広報課）</p> <p>○引き続きアンケート等により、制度を周知するための方法を模索していきます。（自治振興課）</p>

②広聴制度の充実

取組み名	広聴制度の充実
主な担当課	●：広報課 ○：元気創造政策課、総務課
現状・課題	市政に対する意見や提案等を広く聴くことを目的として、市長への手紙や市長のこんにちはトーク、市長と気軽に栗東まちづくり座談会などに取り組んでおり、一定数の市民参加はありますが、全体としてはまだ多いとは言えず、市民参画を推進していくうえでは、市の情報開示や行政の見える化が必要であります。
推進内容	市民が容易に参画できるよう、市民ニーズを踏まえた広聴制度の充実に取り組むとともに、広く市政への参画を呼びかけます。また、市民の意見や提案について各部署で共有し、市民意見等を公開する制度の検討・実施や市政に反映する仕組みづくりに取り組みます。

平成 29 年度目標(値)と具体的な取組み	平成 29 年度実績と課題
<p>●「市長のこんにちはトーク」、「市長と気軽にまちづくり座談会」の実施により、市民が参加しやすい環境づくりに努め、市長と市民の対話による協働のまちづくりを推進します。こんにちはトークで 10 団体参加者 250 人、まちづくり座談会で参加者 300 人を目標とします。（広報課）</p> <p>○総合計画、行政改革及び総合戦略の進行管理の進捗状況については、HP 等において積極的に市民への情報開示を行い、分かりやすい掲載に努めることで市民の市政への参画意識の向上に努めます。（元気創造政策課）</p> <p>○市民からの意見のデータベースをグループウェアにおいて職員間で共有するシステムについて、関係課と研究していくよう努めます。（総務課）</p>	<p>●「市長のこんにちはトーク」や「市長と気軽にまちづくり座談会」を実施、また 11 月 3 日には「まちづくり座談会及びパネルディスカッション」を開催し対話型まちづくりを進めました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ こんにちはトーク…4 回開催、延 82 人が参加 ・ まちづくり座談会…4 回実施、延 139 人が参加 ・ まちづくり講演及びパネルディスカッション…約 100 人が参加（広報課） <p>○総合計画、行政改革および総合戦略のそれぞれの取り組み内容、進行管理の進捗状況および評価等について、市ホームページへの資料掲載により、情報公開を行いました。</p> <p>今後も出来るだけわかりやすい掲載に努めることで、市民の市政参画意識の向上を図るとともに、これらの情報共有に基づく市政に反映する仕組みを更に充実させていく必要があります。（元気創造政策課）</p> <p>○市民からの意見のデータベースを職員間での共有の実現に向けて、関係課と検討します。（総務課）</p>

③ 市政への市民参画機会の推進

取組み名	市政への市民参画機会の推進
主な担当課	●：広報課 ○：自治振興課、元気創造政策課
現状・課題	市民が市政に参画する取り組みを実施していますが、計画や施策の策定時の実行・検証・見直しにおける市民参画をさらに求めていく必要があります。
推進内容	市政に市民の視点からの意見を反映させるため、計画や施策の策定における市民参画の確保、審議会等への市民参画、市民懇談会の開催等により、市政への市民参画機会を推進します。

平成 29 年度目標(値)と具体的な取組み	平成 29 年度実績と課題
<p>● 広聴制度を充実し、市民の意見や提案の共有化・明確化を図り、情報を蓄積する仕組みをつくります。(広報課)</p> <p>○ 平成 28 年度に実施した事業所及び市民アンケートの結果を活かし、周知方法や表現について工夫し、市政への積極的な市民参画を促します。【再掲】(自治振興課)</p> <p>○ 総合計画審議会、行政改革懇談会及び地方創生懇談会における委員については、幅広い関連分野の各種団体等から市政への参画機会の推進を図ります。(元気創造政策課)</p>	<p>● 市長への手紙様式を、広報りっとうに 5 月と 1 月の年 2 回掲載、市役所やコミュニティセンター等の各施設にも設置し、また、ホームページでも受付できるようにしています。1 月末現在 144 通を受付、記名で投稿されたものについては返信し、主な意見と回答はホームページで公表しました。内容についてはほとんどが要望事項であるため、今後は建設的な意見がいただけるような工夫が必要です。(広報課)</p> <p>○ 引き続きアンケート等により、制度を周知するための方法を模索していきます。【再掲】(自治振興課)</p> <p>○ 総合計画審議会、行政改革懇談会および地方創生懇談会における委員選任については、これまでの条例・規則・要綱等によるもの、関連分野における各種団体等からの推薦委員に加え、今年度も引き続き各審議会等に労働団体および金融機関から委員参画をいただくなど、広い分野から市政参画機会の推進を図りました。今後も引き続き市民が市政に参画しやすい環境整備と機会を設けていくことが必要です。(元気創造政策課)</p>

2) 情報の発信・共有

① 市広報やホームページ等による情報発信の充実

取組み名	市広報やホームページ等による情報発信の充実
主な担当課	●：広報課
現状・課題	市広報やホームページ等による情報発信に努めているが、市民にとって分かりやすい情報となっているかを確認しながら情報を発信・公開する必要があります。
推進内容	市民に身近な市広報やホームページ、SNS (Facebook) 等を活用し、市民が活用・共有しやすく分かりやすい情報の発信に努めます。

平成 29 年度目標(値)と具体的な取組み	平成 29 年度実績と課題
<p>● 広報りっとうをはじめ、新しい協働型フェイスブックなどの SNS や、YouTube や TV などそれぞれのメディアの特性を活かし迅速かつ効果的な情報発信を行い、新しくなったホームページについては、ウェブアクセシビリティの方針と公開を行い、すべての人にわかりやすい行政情報発信の充実に取り組みます。ホームページアクセス件数年間月平均 60,000 件を目標とします。</p>	<p>● 4 月 24 日よりリニューアルした市公式フェイスブック「うますぎる栗東」により市民との協働による魅力ある情報の発信ができました。また、広報番組「ほっと栗東」を 4 回制作・放映し、ZTV のニュース番組の栗東版については毎月アーカイブとしてホームページに公開しました。ウェブアクセシビリティについては、方針を公開し、JIS X 8341-3 : 2016 の試験を実施し AA (ダブルエー) に一部準拠していることを 12 月 4 日に公表することができました。ホームページアクセス件数については、4 月から 1 月で月平均約 40,000 件となっています。</p>

②市民（市民活動団体等）が交流できる場や機会の充実

取組み名	市民（市民活動団体等）が交流できる場や機会の充実
主な担当課	●：自治振興課 ○：生涯学習課、経済振興労政課、元気創造政策課、商工観光課、広報課
現状・課題	情報の共有や連携の充実が図れていないため、市民活動団体同士や団体と市が対等な立場で話し合える場や機会が必要です。
推進内容	現状のボランティア・市民活動いきいきサポート講座をさらに広げるような、市民活動団体同士の交流や、団体と市が対等な立場で話し合いできる、交流会・意見交換会・学習会等を充実します。

平成 29 年度目標(値)と具体的な取組み	平成 29 年度実績と課題
<p>●元気創造まちづくり事業、協働事業提案制度の成果報告会についてポスターセッション方式の導入に向け取り組みます。また、サポート講座など助成団体同士が交流できる機会を提供するとともに市民活動団体やボランティアを対象にした市民学習会を実施します。（自治振興課）</p> <p>○各講座の受講生が、その成果をまちづくりや人づくりに活かせるよう、講座の内容について、市民や受講生の意見を反映させ、各コミュニティセンターと連携しながら地域の特性を活かせるような講座を展開します。（生涯学習課）</p> <p>○産官学金連携のネットワークづくりを目指した情報収集を行います。滋賀県内の企業、行政、金融機関、大学などが参加する近江金石会への参加などを通じて、産官学金のネットワークづくりを目指した情報収集を行います。（経済振興労政課）</p> <p>○継続して県内外の企業や大学等の先進的な連携協力による取組みの情報について情報収集を行うとともに、連携事業に向けた庁内における情報共有を図り協議・調整を進めます。また、大学等との連携事業の具現化に向けて、幅広く市民（団体）等が意見交換や交流を図れる場の創出について検討を進めます。（元気創造政策課）</p> <p>○観光物産協会が実施する「栗東観光案内所における休日開所」に際し、来所される観光客対応及び「旧和中散本舗特別公開」時におけるガイドなどを栗東市ボランティア観光ガイド協会と連携する中で、それぞれの事業で役割を担っていただくなどの市民活動団体としての活動の場面を創出していきます。また、栗東市商工振興ビジョンロードマップに基づく事業実施計画の各種事業を展開するなかで、市民（消費者）と事業者の関係づくりに向け取り組みを進めます。（商工観光課）</p> <p>○市民が正確な情報を入手できるよう、誰にでも分かりやすいまちづくりの情報を伝えます。（広報課）</p>	<p>●元気創造まちづくり事業の成果報告会において、ポスターセッション方式を導入するとともに、8月と1月にはサポート講座を開催し、助成団体同士が交流できる機会を提供しました。また、成果報告会にあわせて助成金活用をテーマにした市民学習会を開催し、自立に向けた支援を行いました。（自治振興課）</p> <p>○各コミュニティセンターにおいて、はつらつ教養大学、子育て講座、環境講座、平和学習を実施し、市民同士の交流の場と学習の機会を提供しました。（生涯学習課）</p> <p>○滋賀県内の企業、行政、金融機関、大学などが参加する近江金石会（7月、2月開催）やびわ湖環境ビジネスメッセ、企業立地フォーラム（大阪市内で開催）への参加などを通じて、産官学金の組織・ネットワークづくりを目指して交流し、情報収集を行いました。収集した情報を市民活動団体等が交流できる場や機会の充実にどのようにして活かしていくかが課題です。（経済振興労政課）</p> <p>○一般社団法人環びわこ大学・地域コンソーシアムの主催会議に参加する中で、大学等との連携を実施する参加団体間の取り組み状況等について情報共有に努めました。今後も情報の共有や連携の充実を図るため、市民活動団体や企業、大学等が交流し、話し合いの出来る具体的な場や機会等について、更に検討を進めていく必要があります。（元気創造政策課）</p> <p>○栗東市ボランティア観光ガイド協会と連携し、観光案内所の休日開所については、年間を通して108日間、また旧和中散本舗の特別・一般公開についても7日間実施し、来所者及び入場者への対応をそれぞれ行った。その他、今年度開催しました「りっとう市民秋まつり」に関しても、多くの市民活動団体にご協力いただき、多くの市民の来場を得る中で、開催することが出来た。また、栗東市商工振興ビジョンロードマップに基づく事業実施計画を推進するため、消費ニーズ及び事業者の創意工夫等の相互理解の促進を図るとともに、賑わいの創出および市内購買率・消費率の向上を目指す上での課題の検討や必要な施策立案に向けて有用な知見を得るため、H28の栗東市消費ニーズ調査時に協力いただいた市民や事業者によるワークショップを開催しました。（商工観光課）</p> <p>○龍谷大学との包括連携協定の第1弾としての「30秒CM制作プロジェクト」を市民と大学と市の3者協働により進めることができました。（広報課）</p>

③市民（市民活動団体等）が情報の発信・共有できる機会の充実

取組み名	市民（市民活動団体等）が情報の発信・共有できる機会の充実
主な担当課	●：自治振興課 ○：広報課、生涯学習課
現状・課題	市民活動団体等が、活動に関する情報を発信・共有できる機会が十分ではありません。また、助成金、講座、研修等に関する情報を共有できる機会を増やす必要があります。
推進内容	市民活動情報コーナー等により、市民活動団体等が活動内容の情報の発信・共有できる機会の充実を図ります。 また、市民活動団体等が活用できる講座や助成金事業等に関する情報共有の充実を図ります。

平成 29 年度目標(値)と具体的な取組み	平成 29 年度実績と課題
<p>●平成 28 年度に実施した事業所及び市民アンケートの結果を活かし、まちづくりや社会貢献活動などの情報が収集しやすい媒体となるようホームページの内容を見直し工夫していきます。また、市民活動情報コーナーについて市民活動団体を紹介するだけでなく、イベントポスターや助成金情報など見てためになるような場所として活用できるよう取り組みます。（自治振興課）</p> <p>○平成 29 年 4 月 24 日スタートした滋賀県初の協働型フェイスブック「うますぎる栗東」により、市民と行政が栗東の魅力を発信する。フェイスブック開設後のトータルいいね！件数、1,200 件を目標とします。（広報課）</p> <p>○地域住民の交流の場として、コミュニティセンターにおける生涯学習情報の受発信を積極的に行います。（生涯学習課）</p>	<p>●市民参画と協働のまちづくり通信を発行するなど元気創造まちづくり事業の開催等の情報発信を行いました。また、市民活動情報コーナーにイベントポスター等を掲示し、参加者を呼びかけました。今後、これらの媒体を市民の目に触れやすくする工夫が必要です。（自治振興課）</p> <p>○協働型フェイスブック「うますぎる栗東」により 4 月 24 日から一日平均 1.23 件の魅力ある情報発信を行い、1 月 31 日現在でフェイスブックページのいいね！件数が 1,305 件となっています。（広報課）</p> <p>○コミュニティセンターと連携し、各講座の情報を発信しました。また、生涯学習団体（56）団体の情報をホームページに掲載し、積極的に情報発信を行いました。年々登録団体が減少してきており、登録団体が増えるよう工夫が必要です。（生涯学習課）</p>

3) 環境づくり

①活動支援及び組織体制の充実

取組み名	活動支援及び組織体制の充実
主な担当課	●：自治振興課 ○：総務課、財政課、生涯学習課
現状・課題	市民と市をつなぐ中間支援組織・機能が弱いなど、組織体制が不十分であることから、中間支援組織・機能の充実を図る必要があります。
推進内容	市民活動団体等のサポートや相談等、市民と市の調整を行う中間支援組織・機能の充実を図るなど、組織体制を整え、市民と市が活動しやすい環境づくりに努めます。

平成 29 年度目標(値)と具体的な取組み	平成 29 年度実績と課題
<p>●ボランティア市民活動センターに対し補助金を交付するとともに、栗東市市民社会貢献活動促進基金補助金運営委員として参画いただくことで市民活動団体等のサポート組織としての充実を図ります。また、元気創造まちづくり事業の地域振興協議会コースの終了に伴い、地振協のあり方について今後の方向性を模索します。引き続き自治連合会役員会、各学区自治連合会、地域振興協議会連絡会、コミュニティセンター長会議を開催し、意見交換や情報共有を通じて連携を図り、市民と市をつなぐ組織・機能を充実します。（自治振興課）</p>	<p>●ボランティア市民活動センターに対し補助金を交付し、栗東市市民社会貢献活動促進基金補助金運営委員として参画いただき、市民活動団体等のサポート組織としての充実を図りました。地域振興協議会コースの終了に伴い、3 年間の助成で得たものをどう生かしていくのか、どのように継続していくのか聞き取りを行い、事業継続に必要な不可欠な物品等の補助などについて検討しました。（自治振興課）</p>

①活動支援及び組織体制の充実（続き）

平成 29 年度目標(値)と具体的な取組み	平成 29 年度実績と課題
<p>○協働によるまちづくり推進のため、専門分野の派遣研修などにより職員の育成支援に取り組みます。（総務課）</p> <p>○市民活動団体や自治会等の活動状況、事業の成果等を鑑みながら、今後の方向性等について、予算編成を通じて検討していきます。（財政課）</p> <p>○各講座の受講生が、その成果をまちづくりや人づくりに活かせるよう、講座の内容について、市民や受講生の意見を反映させ、各コミュニティセンターと連携しながら地域の特性を活かせるような講座を展開します。【再掲】（生涯学習課）</p>	<p>○職場外研修（専門研修）等に積極的に参加及び学習することにより、職員の育成支援に取り組みました。今後も、協働のまちづくりが推進するための支援を行います。（総務課）</p> <p>○市民活動団体や自治会等の活動状況、事業の成果等を鑑みながら、今後の方向性等について、予算編成を通じて検討し、必要に応じて予算措置を行いました。（財政課）</p> <p>○はつらつ教養大学、子育て講座、環境講座、平和学習において、コミュニティセンターと連携しながら、受講者の意見を反映させ、地域の特色を活かした講座を開催しました。（生涯学習課）</p>

②市民提案制度の活用・充実

取組み名	市民提案制度の活用・充実
主な担当課	●：自治振興課 ○：財政課、元気創造政策課
現状・課題	市民提案制度に基づき、財政面での援助や活動支援を行っています。また、市民提案制度が十分浸透しておらず、新たな団体からの提案や活用団体を増やすため、制度の周知を図る必要があります。
推進内容	積極的な周知により、市民提案制度の活用促進を図るとともに、制度の課題を検討し、改善に取り組みます。また、制度活用の団体に対し、活動や運営などの相談や情報提供による自立・活性化の支援を行います。

平成 29 年度目標(値)と具体的な取組み	平成 29 年度実績と課題
<p>●市民提案制度を活用した事業については広報でもたびたび取り上げられていますが、さらに浸透するようシンボルマークを効果的に活用したり、facebook 等を利用した周知を図るなど広報の方法について工夫していきます。（自治振興課）</p> <p>○市民活動団体等からの提案の審査結果に基づき、成果を踏まえながら、引き続き予算措置を行っています。（財政課）</p> <p>○今年度においても、市の事業のうち地域活力の創出や人と人の絆を育むために特に選定して推進する「平成 29 年度元気創造事業」全 21 事業を採択し、「市民参画と協働による事業」、「地域資源の有効活用を目指した事業」として位置づけ、事業推進を図ります。（元気創造政策課）</p>	<p>●元気創造まちづくり事業採択団体に対し、ポスターやチラシへのシンボルマークの積極的な活用を促しました。また、広報りっとうや SNS を使った募集・啓発の際はシンボルマークを併せて掲載するよう工夫しました。（自治振興課）</p> <p>○市民活動団体等からの提案の審査結果に基づき、成果を踏まえながら、引き続き予算措置を行いました。（財政課）</p> <p>○平成 29 年度採択の「元気創造事業」全 21 事業中、15 事業を「市民参画と協働に関する事業」に位置づけ、各事業の推進を図りました。今後も事業の趣旨に基づき、「市民参画と協働によるまちづくり」に対する行政側の意識を更に高めるとともに、更なる事業推進を図っていく必要があります。（元気創造政策課）</p>

③大学や企業等の多様な主体との連携・ネットワークづくり

取組み名	大学や企業等の多様な主体との連携・ネットワークづくり
主な担当課	●：自治振興課 ○：元気創造政策課、経済振興労政課、商工観光課、学校教育課、総務課
現状・課題	大学や企業等との連携やネットワークが十分でなく、多様な主体との連携やネットワークづくりが必要であります。
推進内容	大学や企業等は協働の重要な担い手であることから、大学包括協定など個々の特性に応じた協定の締結や、積極的な連携に取り組みます。また、市・市民（地域コミュニティ団体・市民活動団体）・大学・企業等の多様な主体との連携やネットワークづくりを図ります。

③大学や企業等の多様な主体との連携・ネットワークづくり（続き）

平成 29 年度目標(値)と具体的な取組み	平成 29 年度実績と課題
<p>●他課と連携し、包括協定締結に向け取り組みます。（自治振興課）</p> <p>○継続して県内外の企業や大学等の先進的な連携協力による取組みの情報について情報収集を行うとともに、連携事業に向けた庁内における情報共有を図り協議・調整を進めます。【再掲】また、具体的な大学連携を目指し、今後、様々な大学との連携事業や知的財産活用のためのネットワークづくりの構築に向けた取組みを進めていく中で、これまでの取り組み経過や、今後の展開の方向性について合意が図られた龍谷大学との包括連携協定を締結しました（H29.7.11）。今後、更なる連携事業の具体化に向けて、関係課との調整を図ります。（元気創造政策課）</p> <p>○トップセールスなどを通じて、地域行事・団体に関する情報や市政情報を提供するとともに、産官学金のネットワークづくりを目指した情報収集を行います。トップセールス実施時に、栗東市商工会や栗東企業懇話会などの地域経済団体に関する情報提供を行うとともに、滋賀県内の企業、行政、金融機関、大学などが参加する近江金石会への参加などを通じて、産官学金のネットワークづくりを目指した情報収集を行います。（経済振興労政課）</p> <p>○栗東市商工振興ビジョンロードマップに基づく事業実施計画の各種事業を展開するなかで、産学官連携によるブランド創出や商品開発を目指します。また、域内調達の拡大に向け、市内企業間のネットワークづくりに取り組みます。（商工観光課）</p> <p>○滋賀大学教育学部と栗東市教育委員会が相互協力協定を結び、栗東市教育委員会は、大学 2 回生の「交流実習」、3 回生の「基本実習」を受け入れます。また、3, 4 回生は「学生サポーター」として登録し、様々な教育活動の場面で学校をサポートします。（学校教育課）</p>	<p>●元気創造政策課と連携し、龍谷大学との大学連携に向け取り組みました。（自治振興課）</p> <p>○大学等の有する知的財産活用のためのネットワークづくりの構築に向けた取組みの中で、本市におけるこれまでの取り組み経過や実績等を踏まえ、今後の連携や協働によるまちづくりに向けた展開の方向性について双方の合意が図られたことから、平成 29 年 7 月 11 日に龍谷大学との包括連携協定を締結しました。今年度、当該包括連携協定に基づく複数の連携事業を展開する中で、更なる連携事業の具体化に向けて、引き続き関係課間の連携を密にし、大学と連携を行う事業課との調整を図ります。今後は更に、企業等との積極的な連携手法についても検討を進めていく必要があります。（元気創造政策課）</p> <p>【参考】<実施中（済み）または計画中の大学連携事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ※栗東魅力発信塾（栗東市 PR 動画制作 PJ）事業【広報課】 ※スポレク企画事業【障がい福祉課】 ※栗東市内観光ニーズ調査事業【商工観光課】 ※福祉フォーラム開催事業【社会福祉課・長寿福祉課】 ※社会学部教員（講師）職員派遣【総務課】 ※農福連携 PJ 事業【農林課】 ※栗東市内民俗実態調査事業【歴史民俗博物館】 <p>○トップセールスの実施時（本年度 3 回実施）に栗東市商工会や栗東企業懇話会などの地域経済団体に関する情報提供を行いました。また、滋賀県内の企業、行政、金融機関、大学などが参加する近江金石会（7 月、2 月開催）やびわ湖環境ビジネスメッセ、企業立地フォーラムへの参加などを通じて、産官学金の組織・ネットワークづくりを目指して交流し、情報収集を行いました。提供・収集した情報を基にいかに関産官学金のネットワークづくりを図っていくかが課題です。（経済振興労政課）</p> <p>○栗東市商工振興ビジョンロードマップに基づく事業実施計画を推進するため、関係課によるシティセールスコア会議を通じた栗東ブランドに関する内部協議を進め、栗東ブランド認定制度の基本方針（案）を整理してきましたが、継続して産学官連携の方策を検討していく必要があります。また、地域経済の好循環創出のため、中小企業の取り組みを支援する主な機関の紹介や、市内中小企業の連携等に繋がる情報を掲載したガイドブックを作成しています。さらに、観光ニーズ調査の一環として「観光客ニーズ調査」を実施する際、包括協定締結先の龍谷大学と連携し、大学生による現地ヒアリング調査や集計を委託しています。今後、この調査結果をふまえ「（仮称）観光振興ビジョン」を策定する過程において、大学や事業者を含む多様な主体と議論しながら、産学官連携の方策を検討していく必要があります。（商工観光課）</p> <p>○今年度は、滋賀大学 2 回生の「交流実習」で 28 名、3 回生の「基本実習」で 27 名の受け入れを行いました。教員が実習生を指導することにより、教員としての指導力を高め、学校がさらに活気づきました。しかし、一方で事務的な業務が増加し、担当教員に大きな負担がかかるのが課題です。滋賀大学と協議をし、よりよい実習となるよう検討を進めています。また、3, 4 回生の 55 名が、「学生サポーター」として登録し、市内小中学校の様々な教育活動で学校支援にあたりました。学生によって参加回数に差がありますが、積極的に参加するよう滋賀大学と連携して呼びかけを行うことで、熱心にサポーター活動に取り組む学生の姿が見られました。（学校教育課）</p>

③大学や企業等の多様な主体との連携・ネットワークづくり（続き）

平成 29 年度目標(値)と具体的な取組み	平成 29 年度実績と課題
○（公財）大学コンソーシアム京都や龍谷大学とのインターンシップにかかる協定に基づき、連携強化を図るとともに、インターンシップ実習生を積極的に受け入れ、一層のネットワークづくりに取り組みます。（総務課）	○インターンシップ実習生として申込みのあった大学生 3 名の受入れ（2 週間）を行いました。今後も、学生が就職体験を通して勤労観や職業観を育むとともに、職員の意識改革や資質向上を図るため、龍谷大学との協定をはじめ様々な大学からのインターンシップ実習生を受入れ、更なるネットワークの拡大に努めます。（総務課）

4) 担い手づくり

①担い手の発掘・育成の充実（市）

取組み名	職員研修の実施
主な担当課	●：自治振興課 ○：総務課
現状・課題	これからも職員自身がまちづくりの重要な担い手であるという意識を向上させ、業務に取り組む必要があります。
推進内容	人材育成のための研修等を充実し、市職員の理解促進とスキルアップを図り行動につながるよう、内容を工夫・充実させます。さらに、リーダーとして、市民と対等な形で話し合えるスキルを身につけたファシリテーター※9 等の養成を目指します。

平成 29 年度目標(値)と具体的な取組み	平成 29 年度実績と課題
●職員研修を実施し、スキルアップを図ります。（自治振興課） ○外部機関が実施する専門研修への派遣や職場研修の機会を増やす啓発を行うなど、一層の人材育成に取り組みます。（総務課）	●主査級以下の職員を対象に協働のまちづくり研修を実施し、86 名が受講しました。今後、業務に活かせるよう工夫が必要です。（自治振興課） ○職場外研修（専門研修）等に積極的に参加及び学習することにより、職員の育成支援に取り組みました。今後も、協働のまちづくり推進のための支援を行います。（総務課）

②担い手の発掘・育成の充実（市民）

取組み名	学習会等の開催、市民人材バンクの仕組みづくり；
主な担当課	●：自治振興課 ○：生涯学習課
現状・課題	多くの市民活動団体には、担い手づくりの課題があり、団塊の世代や市民活動団体に所属していない市民へまちづくり活動への参加を促す必要があります。 また、知識や技能等を有する人材の活動を支援する必要があります。
推進内容	学習会等の充実により担い手の発掘や人材育成に取り組みます。また、知識や技能を有する人材を登録し活用する市民人材バンクの仕組みづくりを行います。さらに、その参加者や登録者が情報共有や交流することにより、ネットワークの形成を目指します。

平成 29 年度目標(値)と具体的な取組み	平成 29 年度実績と課題
●市民活動団体やボランティアを対象にしたサポート講座を実施するとともに、広く市民活動に興味を持ってもらえるよう市民学習会の開催など担い手の発掘に向けた取組みを進めます。（自治振興課） ○人材バンクの共有化と有効活用を図ります。（生涯学習課）	●元気創造まちづくり事業申請団体および実施団体を対象にサポート講座を実施しました。また、市民学習会「今こそ、リアルな助成金の活用」を開催し、担い手の発掘に向けた取組みを進めました。（自治振興課） ○人材バンク登録者の方に、各講座の講師をお願いする等、有効活用を行いました。（現在の登録者数 18 人）登録者が年々減少してきており、登録者が増えるよう工夫が必要です。（生涯学習課）

5) 市の推進体制

① 庁内推進体制の整備

取組み名	市民参画と協働によるまちづくり推進の体制づくり
主な担当課	●：自治振興課 ○：総務課
現状・課題	職員の連携や意識醸成等、全庁的に推進する体制づくりが必要です。
推進内容	市民参画と協働によるまちづくりを推進するための担当者を各課に配置するなど、取り組みの進行管理・検討・研究や協働事業の参画呼びかけ、コーディネート等、全庁的な推進体制を図ります。 また、職員は市民参画と協働の視点を持って業務に取り組みます。

平成 29 年度目標(値)と具体的な取組み	平成 29 年度実績と課題
<p>●協働事業のテーマ募集の際に協働チェックシートを添付し、協働の視点を持って業務に取り組めるよう職員の意識向上に努めます。また、庁内 LAN を利用した啓発に取り組みます。 (自治振興課)</p> <p>○情報の共有や連携強化が図れるための集合研修や職場研修を実施します。(総務課)</p>	<p>●庁内 LAN を利用した啓発や協働事業のテーマ募集の際にチェックシートを添付するなど、職員の意識向上に努めました。また、主査級以下の職員を対象に協働のまちづくり研修を実施し、協働の視点を持って業務に取り組めるよう意識向上に努めました。(自治振興課)</p> <p>○職員集合研修や職場研修を充実し、職員の更なるスキルアップを図ります。(総務課)</p>

② 市職員の意識向上

取組み名	職員研修の実施〔(4)①の再掲〕
主な担当課	●：自治振興課 ○：総務課
現状・課題	職員自身が重要な担い手であるという意識を向上させ、行動につなげる必要があります。
推進内容	人材育成のための研修等を充実し、市職員の理解促進とスキルアップを図り行動につながるよう、内容を工夫・充実させます。さらに、リーダーとして、市民と対等な形で話し合えるスキルを身につけたファシリテーター等の養成を目指します。

平成 29 年度目標(値)と具体的な取組み	平成 29 年度実績と課題
<p>●職員研修を実施し、スキルアップを図ります。 【再掲】(自治振興課)</p> <p>○外部機関が実施する専門研修への派遣や職場研修の機会を増やす啓発を行うなど、一層の人材育成に取り組みます。【再掲】(総務課)</p>	<p>●主査級以下の職員を対象に協働のまちづくり研修を実施し、86 名が受講しました。今後、業務に活かせるよう工夫が必要です。【再掲】(自治振興課)</p> <p>○職場外研修(専門研修)等に積極的に参加及び学習することにより、職員の育成支援に取り組みました。今後も、協働のまちづくりが推進するための支援を行います。【再掲】(総務課)</p>

進行管理

① 各部署における取り組みの進行管理

取り組み名	取り組みの進行管理
主な担当課	●：自治振興課
現状・課題	具体的な取り組みを推進する事で、市民意識と職員意識を向上し、行動につなげる必要があります。
推進内容	毎年、各部署で作成の「市民参画と協働によるまちづくり取り組みシート」により、事業の抽出や進捗状況を把握し、P D C A サイクルにより、取り組み内容を評価・検証（一次評価：各課取り組み状況シート、二次評価：市民参画等推進委員会）し、計画の進行管理と推進を行います。

平成 29 年度目標(値)と具体的な取り組み	平成 29 年度実績と課題
●市民参画等推進委員会に諮り、進行管理を行います。	●市民参画等推進委員会に諮り、進行管理を行いました。